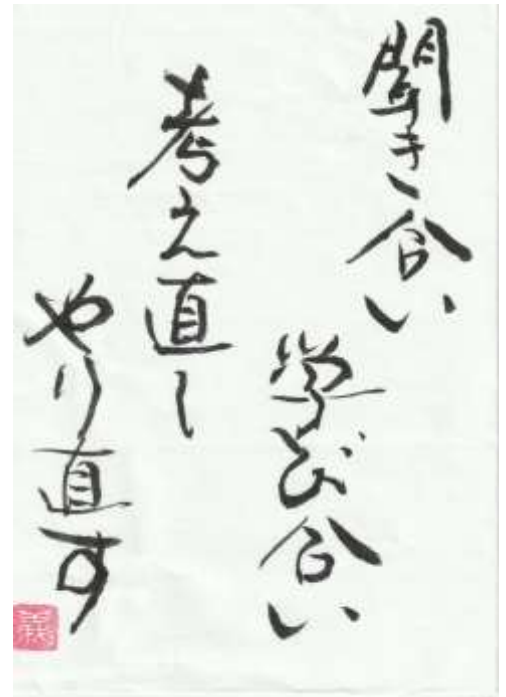




NO.212

2023年(仏歴2554年) 3月 1日



聞き合ひ 学び合ひ
考え直し やり直す

ある研修会で聞いたこの言葉が印象に残った。お互いに相手の話をよく聞き合うこと。そして、それぞれの違いやその底に流れる願いを学び合うこと。それは人間関係の基本的なことのように思えた。

それらの作業をていねいに経験しながら、自らの思いやあり方や生き方を考え直し、時にはやり直しながら生きていく。それがあやまちを繰り返す私たち人間の、大切にしていくべきことなのではないだろうか。
(住職)

↓インスタ↓

↓存明寺 HP ↓

<https://zonmyoji.jp>

存明寺 Instagram と HP 更新中!

お寺の活動や諸行事、掲示板の言葉や花手水、法話動画などなど、定期的に更新中。ぜひご覧ください。



お寺に つどう ひとびと



報恩講法要【2022年11月3日】



樹心の会【2022年12月10日】



こども会【2023年1月28日】

親鸞 ゆさぶる言葉

悲
泣
せ
よ

『正像末和讃』より

親鸞聖人の七五〇回御遠忌法要が始まる直前の二〇一一年二月、ご本山の修練道場で講師の先生からお聞きした話が忘れられない。次の和讃についてである。

釈迦如来かくれまして／二千余年になりたまう
正像の二時はおわりにき／如来の遺弟悲泣せよ

この和讃の、「釈迦如来」を「親鸞聖人」に、「二千余年」を「七五〇年」に読み替えて、今私たちは読むべきではないか、と師は熱く語られた。

正法、像法の二時は終わり、今は末法。教えはあるが、行じる人がいない時代。和讃を読み替えてみたい。

親鸞聖人かくれまして／七五〇年になりたまう
正像の二時はおわりにき／親鸞の遺弟悲泣せよ

鳥肌が立った。はたして自分はきちんと親鸞聖人に出会ってきたのだろうか。「悲泣」の左訓には「かなしみなくへし」とある。悲泣の御遠忌。その言葉が脳裏に焼きついた。

時は流れて慶讃法要。あらためて、私は浄土真宗にきちんと出会えているか。親鸞聖人に出会えているか。そのことを一人ひとりが確かめるべき時がやってきた。悲しみ泣くべし。そこから再出発すべき大切な時が、今私たちにやってきてくれた。



著・文：酒井 義一 ● さかい よしかず
1959年東京生まれ、真言大谷派存明寺住職。

お寺の活動のご紹介



1 樹心の会（じゅしんのかい）

【3～6月、9～12月の8回】

親鸞聖人の教えを学ぶひろばです。オンライン ZOOM と生参加にて開催中。現在およそ30名前後の方が参加しています。

短い勤行のあとにお話（門徒有志と住職）、その後は少人数に分かれての語り合い（座談会）です。コロナに負けずに場を開いています。



↑ 樹心の会の風景

2 ぞんみょうじいども食堂

【毎月1回開店中】

開設8年目、現在は20家族約80名にキーマカレーなどを提供しています。感染状況を見ながら、お寺で会食・お持ち帰り・食材配布を使い分けています。コロナの中にあっても笑顔とつながりを大切に開店中！

3 ぞんみょうじいども会

【毎月1回開催中】

小1から小6までの20人が集まっています。コロナでも出来る遊びを子どもたちと考えながら実施しています。外での宝さがし・広い本堂での遊び・距離を取っての工作などなど。子どもたち、とっても元気です。



↑ ともども食堂 食材配布の日

4 おそつじいおみがきのつどい

【年4回開催中】

境内の掃除や植木の剪定・仏具のおみがきなどを行っています。春と秋の年4回開催しています。一緒に汗をかいてみませんか？ ご参加・ご協力をお願いいたします。

5 真宗聖典輪読会

【毎月1回開催中】

副住職夫妻が主宰する、新しくできた会です。勤行・輪読・発題・座談が行われています。コーヒータムもあります。

「わかってもらわなくてもみんな読んで読む」をモットーとしています。



↑ 真宗聖典輪読会チラシ

6 グリーフケアのつどい

【3・6・9・12月に開催】

大切な方を亡くした人々のつどいです。勤行・ミニ法話・語り合い・音楽鑑賞が主な日程です。悲しみにひかりがあたる、あたたかな居場所を目指しています。

7 青年のつどい

【今年はやります 8月26日】

2007年から12年続いていましたが、コロナで中断。その間にお寺には本物の青年（息子夫婦や娘）が登場し、今年の夏に再出発をすることになりました。内容は未定ですが、乞う、ご期待。

私を照らすひかりの言葉

空しさは
本
当
に
生
き
た
い
と
い
う
い
の
ち
の
さ
げ
び



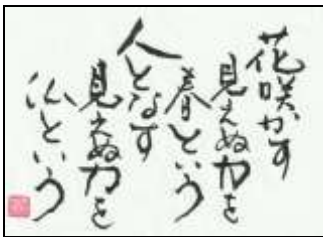
お寺のひろば 2023年(令和5年)

2023年お寺のひろば

3月11日(土)	14時	樹心の会
3月17日(金)	13時	おそうじの日
3月21日(火)	11時と13時	春のお彼岸法要
3月25日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
4月15日(土)	14時	樹心の会
4月28日(金)	10時	おみがきのつどい
5月3日(水)	10時	永代経法要
5月13日(土)	14時	樹心の会
6月10日(土)	14時	樹心の会
6月24日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
7月8日(土)	11時	新盆法要
7月13日(木)	11時と13時	お盆法要
8月26日(土)	午後	青年のつどい
9月9日(土)	14時	樹心の会
9月15日(金)	13時	おそうじの日
9月23日(土)	11時と13時	秋のお彼岸法要
9月30日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
10月14日(土)	14時	樹心の会
10月25日(水)	10時	おみがきのつどい
11月2日(木)	14時	報恩講のゆうべ
3日(金)	10時	報恩講法要
11月11日(土)	14時	樹心の会
12月2日(土)	11時	帰敬式
12月9日(土)	14時	樹心の会
12月16日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
1月1日(月)	10時	修正会

こども食堂・子育てサロン・こども会・聖典
 輪読会も、感染対策をしながら開催中です。

存明寺の風景



↑お寺の掲示板の言葉



↑存明寺の門前



↑門前の花手水(はなちょうず)



↑門前の掲示板

3年11度の帰敬式を行います

帰敬式を受けて法名を頂きましょう。

日時 2023年12月2日(土)

場所 真宗大谷派 存明寺

費用 30,000円

日程 10時半～受付 11時～帰敬式

12時～会食 13時半～終了

※住職と相談しながら法名を決めます。
 ※お子さまも受けられます。
 ※別紙お申込み書に費用を添えてどうぞ。

【あしがき】

▼お寺の庭では梅の花が咲き始めました。サンシユユ・ハクモクレン・あんずと、これから次々と花が咲きます。春の訪れです。



▼どんなに寒い冬であっても、あたたかな季節と出会えば、花は開くのです。左上の法語には「花咲かす見えぬ力を春という 人となす見えぬ力を仏という」(藤元正樹)とあります。春は目に見えませんが、花咲く時、春を感じることが出来ます。人が本当に人となる、その見えぬ力を仏さまと呼んできたのが、仏教の歴史です。

▼コロナや戦争など、生きることにつらさを感じるこの頃ですが、人間を照らすあたたかな教えに出会うことを、何よりも大切にしたいものです。

義

東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井義一(釋諦信)

TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880